

# アスファルト再生技術をインドネシアで活用

## 気仙沼市の(株)菅原工業による案件化調査

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社菅原工業(宮城県気仙沼市、菅原寛代表取締役)が提案する「アスファルト廃棄物を活用した循環型舗装技術の導入に関する案件化調査」(インドネシア)を採択しました。

インドネシア政府は中期国家開発計画として、道路などのインフラ整備により、国土の連結性を改善し、地方を発展させる目標を掲げています。道路の維持管理においては定期的な道路のモニタリングと修繕が不可欠ですが、同国では道路にかかる経費削減が課題となっているため、修繕の際は安価なオーバーレイ工法(元の道路表面にアスファルトを重ねる)が採用され、そのため道路と路肩に段差ができて、道路の安全上、問題となっています。

(株)菅原工業が提案する技術はアスファルト再生技術を核とした施工、管理を含めた総合的な循環型舗装技術で、再生プラントによりアスファルト廃棄物を活用して再生アスファルトを製造し、それを利用して舗装を行うことにより、コストの削減を実現、工法の改善により段差のない修繕を行うことで道路の安全性の向上を実現するものです。



案件化調査では、現地の道路インフラ整備に関する開発課題の現状やニーズ等を調査し、さらに、日本のアスファルトの9割以上がリサイクルされている現状等を学ぶ本邦受入活動を予定している。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当 上野

TEL 022-223-4772 e-mail : Uwano.Midori@jica.go.jp